

棒ノ折山山行報告



【山行日】2018年 12月 2日(日) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー2台 : 2,000円

【メンバー】CL:鈴木、安西、石川、岩淵、大西、石澤、関、五月女、鶴見、並木、福田タ、藤原渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=さわらびの湯
P7:10/7:20~白谷沢登山口 8:00~白孔雀ノ滝
9:00~岩茸岩 9:40~棒ノ折山 10:35/11:10~岩茸
岩 11:30~林道トイレ 11:50/12:00~滝の平尾根

ベンチ 12:10~さわらびの湯 P13:30/13:40=岩舟支所P15:30

山行アンケートで棒ノ折山に行きたいと要望があり、白谷沢登山口からプチ沢登りを楽しむコースを計画した。圏央道青梅 IC で降り、有間ダムの下にある「さわらびの湯」へ向かった。「さわらびの湯」手前の駐車場に車を止め、トイレとストレッチを済ませたら出発する。

駐車場からダムに向かって舗装道を歩き、ダムの堰堤を渡って湖岸沿いの車道を進むと標識が立つ白谷沢登山口に着く。

ここから左に登山道を歩くようになり、杉林の中を登って行く。段々沢が近づいてきて藤懸ノ滝の上で沢を渡し、ここからは沢の中を歩くようになる。小さい滝が連なる気持ちが良い沢を登り、兩岸の岩がせばまって、白谷沢核心部のゴルジュが始まる。ここから白孔雀ノ滝までは兩岸が迫り、迫力ある光景に初めて参加する方達は圧倒される。「凄～～い、こんな素敵な場所があったんだ！」と喜んでいた。

天狗ノ滝・白孔雀ノ滝と越えると核心部は終わり、穏やかな流れの中を歩くようになる。



沢に沿って登り、一登りで林道に出て広場で休憩を取る。広場から先の登山道に、「登山道崩落の為通行禁止」の札があったが、下って来た登山者に聞くと通行可との事。休憩後そのまま登山道を進み、急な斜面を登ると尾根上の岩茸石に着く。ここは十字路になっており、棒ノ折山へは右に尾根上の道を登って行く。丸太の階段混じりの急坂は歩きにくく、脇の登山道を登り権次入峠に出る。

ここは高水三山方面への分岐になっており、棒ノ折山へは右に尾根上の登山道を登る。峠からは樹林

帯の道を緩やかに登り、最後の丸太の階段を登ると周囲が開け、棒ノ折山山頂の広場に着く。

山頂は広く、東屋やベンチ、テーブルが置かれ、北側の展望が開け奥武蔵の山々が素晴らしい。



風も無く暖かいので、少し時間は早いがここでランチタイムとし、すいとん汁を作り昼食を食べる。今日は大勢なので沢山お惣菜が並び、いつもより賑やかな昼食会になった。食後の果物や菓子も次々に出され、とても食べ切れない。お腹が満たされたら下山する。下山は往路を岩茸石まで戻り、そこから直進して滝ノ平尾根を下ってさわらびの湯へ向かう。滝ノ平尾根は明るくて歩き易く、途中3ヶ所で林道を横切るが3ヶ所目の林道に出た所に簡易トイレがあり、女性

達は利用させてもらう。

林道に戻り下って行くと樹林帯の中を下るようになり、滑りやすい登山道を慎重に下って行く。途中からトイレに行きたいと数名が先行して下り、道が分かるのか心配したが案の定間違えたようだ。

でも何とか駐車場にたどり着き、トイレを無事済ませたようだった。靴を履き替えたらトイレを済ませ、駐車場にある直売所で買い物し帰路につく。途中、高速道の渋滞も無く、菖蒲PAに寄り買い物し予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

